

## ◆今期間のポイント

## ＜主要じょう乱の概要＞

- 4月1日は、日本の東の高気圧は千島の東へ移動する。前線が日本の南から東シナ海へのびる。
- 2日は、低気圧が日本の南から日本の東へ進む。
- 3日は、低気圧が日本の東を北上する。高気圧が華中から東シナ海へ移動する。
- 4日は、低気圧が千島近海へ進み、高気圧が日本付近へ移動する。
- 5日は、低気圧がオホーツク海へ進み、高気圧が日本の東へ移動する。

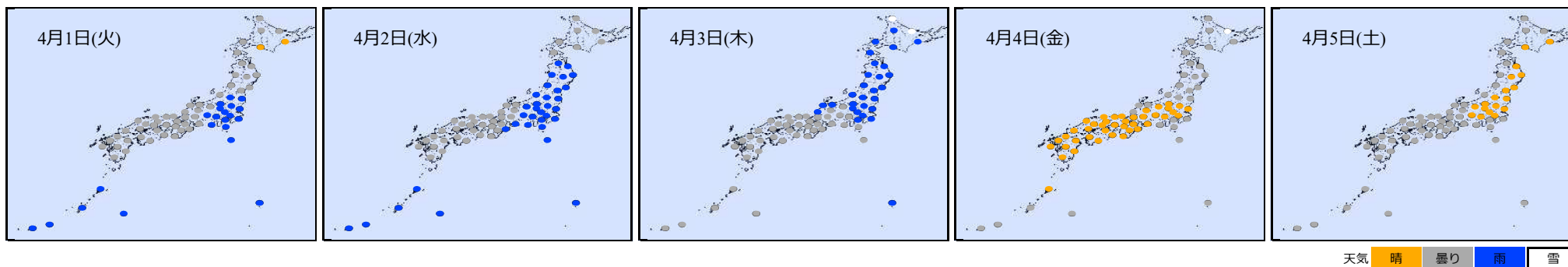
## ＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

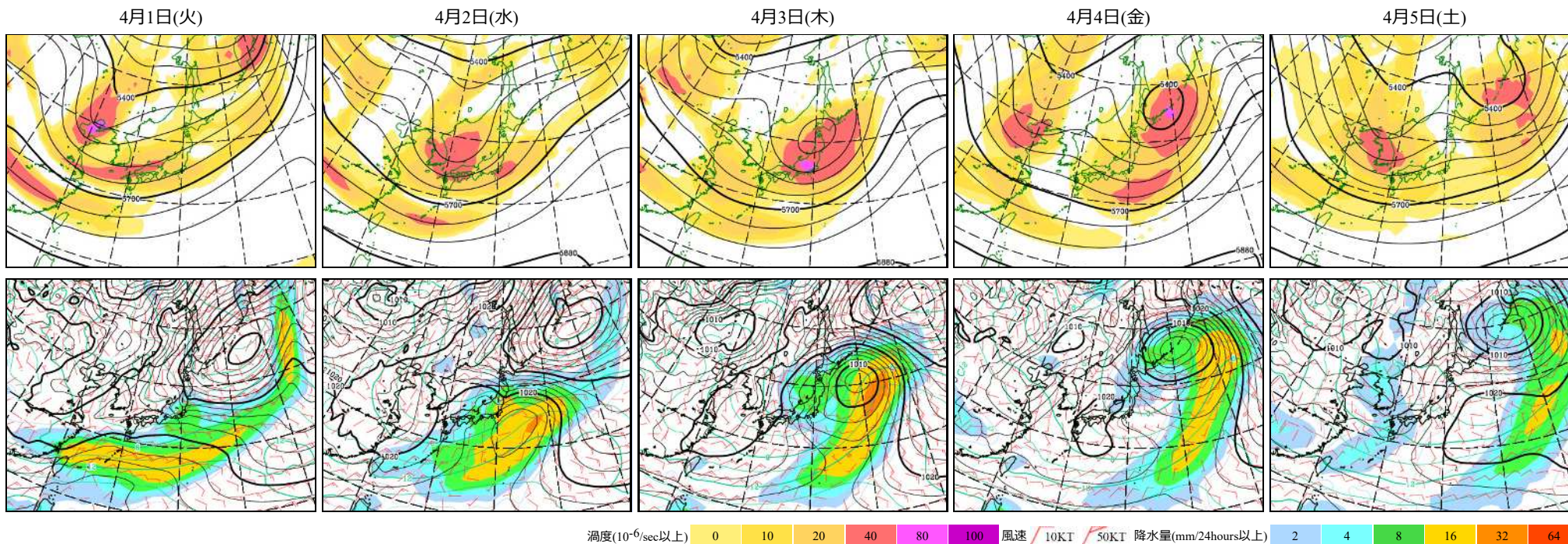
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

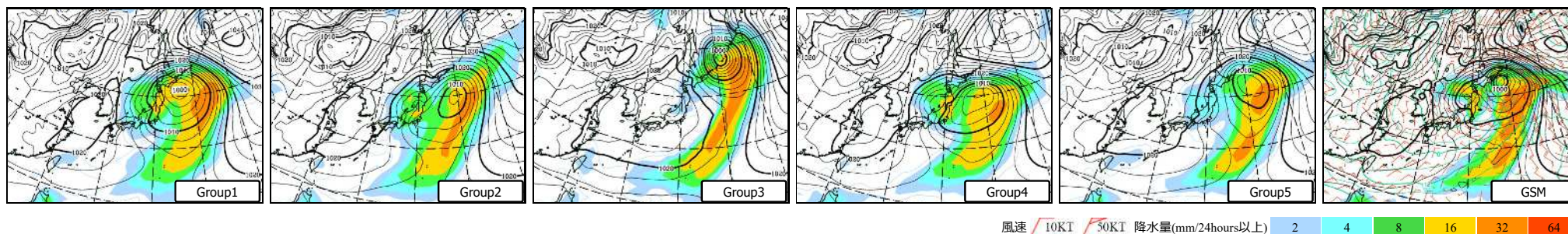


- 北日本は、晴れる所もあるが、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本は、4月1日から3日は曇りや雨の降る所が多い。4日と5日は晴れる所が多い。
- 西日本は、4日は晴れる所が多いが、その他の日は雲が広がりやすい。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月3日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、4月2日から4日にかけて日本付近を通過するトラフが深くなり、日本の東海上を北上する低気圧の発達が強まった。
- 各モデルとも、期間の中頃に日本付近を通過するトラフが深まる初期値変わりが見られる。期間の終わりにオホーツク海付近に進む寒冷渦の予想は、モデル間に差がみられる。
- 期間の終わりはスプレッドがやや大きく、オホーツク海付近の寒冷渦の予想については不確実性が大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。